

競技者注意事項

この大会は、2021年（財）日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により行う。

招集は、全て競技者係の指示に従うこと。

- ・点呼終了時刻は、トラック競技は競技開始時刻の25分前から開始し、15分前に終了する。フィールド競技は競技開始の30分前から開始し、20分前に終了とする。
- ・密集を避けるため、通常の集合形式の最終点呼は実施しない。招集終了時間にトラック競技は100mスタート後方、フィールド競技はスタンドの所定場所に集合すること。リレーは現地集合とする。招集に遅れた者の出場は認めない。
- ・点呼終了後、競技者は招集所を離れてはいけない。
- ・各競技種目の移動はすべて競技者係の誘導によって行う。競技が重複して出場する競技者は、その旨を競技者係及び審判員に申し出て、棄権にならないよう注意すること。
- ・フィールド競技からトラック競技に移動する際は、必ずその競技の審判員に断ってから移動すること。
- ・四種競技の点呼は最初の種目だけとし、二種目以降は各競技場所に集合（競技開始15分前）とする。
- ・リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに本部（記録員）に提出すること。なお、一度提出したオーダーの変更は（ケガなどで競技不可能となった時以外）認められない。
- ・リレーオーダー用紙はプログラムに同封しているものを使用する。
- ・競技を棄権する場合は、競技者係に申し出ること。
- ・マスクは、トラック選手はスタート準備まで、フィールド選手は試技開始前（待機中含む）まで着用すること。（マスクを入れるビニール袋は各自用意すること）

走路順・試技順

- ・プログラム記載通りとする。
- ・トラック競技の決勝のレーンは本部記録で決定する。

トラック競技

- ・スタートについては競技規則第162条5（C）は、本大会では適用せず、注意を与えるものとする。
- ・男子110mHについては後志地区と同時スタートとする。
- ・男子800mのスタートはオープンで行う。女子については、セパレートで行う。
- ・男子3000m、女子1500mについては後志地区と同時スタートとする。ナンバーカードについては、競技者係から受け取ったレーン番号をつける。
- ・男女四種競技（男子110mH、400m、女子100mH、200m）は後志地区と同時スタートとする。
- ・トラック競技（リレー競技においては第4走）では、スタート前に腰ナンバーを右腰に着けること。
- ・800m以上の種目の靴底の最大の厚さは25mm以下とする。スパイクシューズ以外での参加を予定している選手は事前に競技者係でチェックを受けること。

フィールド競技

- ・走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
- ・男子走高跳（練習 1m15） 1m20～1m55まで5cm上げ。以後、3cm上げ
- ・四種男子走高跳（練習 1m05） 1m10から3cm。
- ・女子走高跳（練習 1m05） 1m10～1m30まで5cm上げ。以後、3cm上げ。
- ・四種女子走高跳（練習 1m00） 1m00から3cm。
- ・練習の高さについては、選手の状況に合わせ2段階で練習を行う。
- ・アスリートビブスは胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部のみでもよい。

練習について

- ・8時30分まで、本競技場での練習を認める。
- ・第4コーナーでのバトンパス練習は禁止する。リレー練習後は必ずマーキングテープを剥がすこと。
- ・ウォーミングアップは競技に支障にならないようバックストレートと外側トラックを利用のこと。
- ・競技場外のグラウンド（旧末広中学校のグラウンド）などの施設を使用しないこと。
- ・逆走は大変危険なので、絶対に行わないようにすること。

スパイクシューズについて

- ・本競技場は全天候舗装であるので、ピンは全天候型の9mm以下（走高跳11mm以下）とする。

その他

- ・ランニングパンツの下からはみ出るようなスパッツ等の着用は禁止する。ハーフパンツやスパッツだけを着用すること。不正スタートについては1発失格を適用する。ピク付き動作は、グリーンカードを示し、注意を与える。ただし、四種競技においては各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は全て失格とする。
- ・表彰は行わない。各種目3位以内（リレーは3位まで）の入賞者は、賞状を学校ごとに本部2階へ受け取りに来ること。ただし、学校対抗の賞状などは本部1階に受け取りに来ること。